

幹のいずれか ・幹の模様の有無 ・幹輪郭線
 ・切株、ひこばえ、節穴などの有無 ・幹の長さ
 と樹冠の高さの比

〔樹冠部〕

・1線枝か2線枝か ・枝の方向 ・枝の優勢
 方位 ・開放幹の有無 ・枝の先端処理 ・樹
 冠の大きさと型 ・樹冠の輪郭線 ・枝、樹冠
 への陰影 ・実、葉、花の有無 ・空間倒置の
 有無 ・樹冠の左右の幅の比

〔地平線〕

・地平線の有無と位置 ・傾き

〔根〕

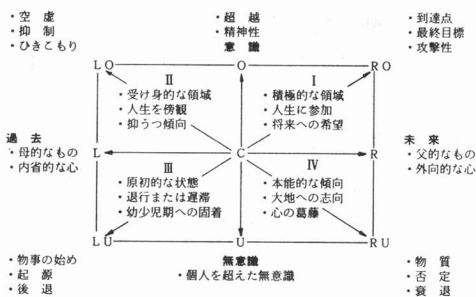
・根の有無 ・根の型と長さ ・張りぐあい

② 動態分析

同じ形態のバウムであっても、被検者の鉛筆
 の動きによって、運筆、筆圧、力のリズムなど
 は異なってくる。これらは、次表に示すような
 性格指標の側面をもち、形態水準の高(+), 低(-)
 に基づく二義性を有する。

形態水準		+	-
不規則性	感情の優位	感情生動性	意志の弱さ
規則性	意志の優位	意志の強さ	感情の冷たさ
均衡	低い興奮性	平静化	無感応
不均衡	高い興奮性	感受性	易刺激性
形態水準	+		-
急速	活動欲・感情生動性	不穏・感情興奮性	
遅緩	静穏・平静化	不活発・冷淡	
弱圧	敏捷・抵抗感	意志薄弱・不安定性	
強圧	意志力・抵抗感	鈍重・短気	
潤側	生のよここび・直観性	放縱・粗野	
渴直	自己統制力・精神性	禁欲的・概念性	
広狭	熱中・想像力	奔放・無批判	
	克己・理論性	臆病・無味乾燥	
連綿	論理性・組織的思考	思想貧困・移り気	
分離	思想豊富・直観能力	飛躍性・抽象力欠乏	
豊貧	形式感情・外観重視	誇張・非即事性	
	合目的意識・即事性	外観軽視・形式感情乏	
飾りたて		喝采願望・自画自賛	
おざなり		非厳密性・狡猾	

③ 空間象徴



かかれたバウムが、紙面（I～IV）のどの領域
 に定位されるかで、被検者の生活の場におけ
 るあり方や中心からの矢印の方向への傾きにみ
 られるエネルギーの存在が解釈される。したが
 って、どの位置に、どの程度の大きさでかかれ
 ているかをとらえる必要がある。

3. 事例

- (1) 主訴 不登校（登校拒否）
- (2) 対象 中学校1年生、男子B
- (3) 問題の概要

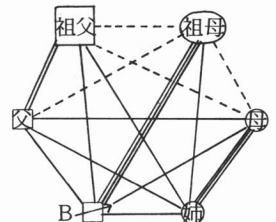
小学校6年の7月、級友3人との言い争いから
 いじめられ、2学期から登校をしぶり断続的
 に欠席する。いじめられる夢をみる、他人の言
 動や時間を気にする、夕食を食べないになる。
 また、登校刺激が強められると、腹痛、頭痛
 を訴え、自分の部屋に座り込んでしまう。

中学に入っては、親しい友人もなく 5月中
 旬から以前と同様の症状を示し、継続して欠席
 するようになる。起床しない、過食、屋外へは
 全く出ない、来訪する級友や先生にも会わな
 くなる。病院での診断では、異常はないという。
 学級担任の紹介で6月に来所する。

(4) 資料

- ① 性格検査（YG）：E'型 神経質，対人不安
 の傾向がかなり強く陰気で集団適応性が低い。
- ② 健康調査表（CMI）：神経症判別Ⅲ領域
 （特に、希望がない，易怒性，強迫観念につ
 いてチェックされる）
- ③ 家族構成と親の養育態度：父，母，姉，父
 方祖父母の6人家族。家族システムは、ひずみ
 型である。祖父，父はおとなしい性格の人で，
 祖母が発言力をもち，家事，養育の中心である。

母は，祖父母に
 気を遣い自己表現
 を控えるタイプで
 ある。Bが1歳の
 ときから，両親は
 農閑期にはパート
 で働いている。



祖父，父は，酒
 乱気味で祖母との口論が絶えない。Bは，幼少
 時，一人遊びが多くき帳面で大人びた言動をし，